

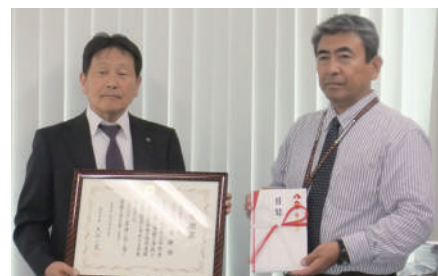


今年3月に発売した「お城納豆ひきわり極小」。設備投資により、これまで以上に新鮮で風味豊かなひきわり納豆を食卓に届けることが可能になった

2015年に創業60周年を迎えた納豆・豆腐製造、販売の(株)丸美屋。「ひきわり納豆ブーム」の到来から、今年、設備投資と新商品の発売で、同社のひきわり納豆を強化。関連3社においては、中国で納豆のテレビショッピングを放映するなど、新たな取り組みも実施する。100年企業への課題を「人材育成」と掲げ、今後も地域・健康・環境に寄与し着実に成長を遂げていく。

株式会社丸美屋

## 設備投資と新商品で「ひきわり納豆」を強化 100年企業向け人材育成に注力



熊本城災害復旧支援金の贈呈式。売り上げの一部440万円を寄付した

### 新商品「お城納豆ひきわり極小」が好評

納豆・豆腐の製造、販売を行う(株)丸美屋は、1956年にふりかけの製造会社として創業し今年で62年、現在では熊本城を商品イメージにした「お城納豆」「お城豆腐」シリーズを中心に食卓で親しまれている。

同社はこれまで、「地球にやさしく、おいしさひとすじ健康に奉仕する丸美屋」を経営理念に掲げ、味へのこだわりはもちろん、健康に配慮した商品開発などに力を入れてきた。2014年には、「お城納豆ひきわり納豆」が見た目や粘り、においなど大豆本来の味が高く評価され、「第19回全国納豆鑑評会」で会長賞を受賞。また、年々、ひきわり納豆の人気が高まり、同社が販売する「パワーキッズ」に関しても、ひきわりの売り上げは、丸大豆の納豆を上回り以前の2倍になるなど、「ひきわりブーム」が到来した。このような背景から今年、設備投資を行い自社工場の大豆ひきわり能力を増強。以前の約2倍の能力を持つ機材の導入で、これまで以上に新鮮で風味豊かなひきわり納豆を食卓に届けることが可能になった。合わせて、今年3月、新商品「お城納豆ひきわり極小」を発売。のど越しが良く、納豆の粘りの切れが良いなど好評で、子供から高齢者まで幅広く愛され、「ひきわり納豆」といえば丸美屋」というイメージの確立に力を注ぐ。

### 熊本城復興支援金として440万円を寄付

昨年、熊本の地に大きな傷跡を残した



農匠なごみ大豆農場。今年は大豆の生産量250トンを見込む

熊本地震。同社の商品イメージである熊本城も未曾有の被害を受け、昨年7月、売り上げの一部を熊本城復興に寄付する「復刻版お城納豆マミ」を発売した。発売当初の「お城納豆」の包装を再現した商品で、九州のみならず通信販売を通して関西や関東まで熊本城修復をアピール。昨年11月には、熊本城災害復旧支援金として440万円を寄付し、今後も全体修復完了まで活動を継続し、全社員一丸となり、息の長い支援を展開する考えだ。

### 中国で納豆のテレビショッピングを開始、生協との提携など関連3社も着実に成長

12年に設立した大豆の生産を行う農業法人(株)農匠なごみ(東鉄兵社長)は、設立から5年を迎え、今年は昨年の2.5倍にあたる250トンの生産を見込むなど着実に成長を遂げている。将来的には、同社が納豆・豆腐製造に使う大豆の2割に相当する1千トンを目指しており、今後も自社農地と契約農家を増やしていく。

また、関西・関東エリアで納豆、豆腐、タケノコの水煮、韓国の輸入キムチを販売する(株)武双庵(家村亨社長)は全国の生産者やメーカーなどと連携し、販売エリアを拡大。昨年からは奈良生協と提携し、今後も各都道府県の生協と連携するなど販路拡大に力を注ぐ。設立以降、売り上げは好調に推移し、今後も全国の武双庵ファン獲得に向け取り組む方針だ。

中国の大連で納豆製造を行う大連美屋食品有限公司は、今年8月、納豆のテレビショッピングを開始する。県のPRキャラクターくまモンをパッケージにあしら

った商品を中国のお茶の間にアピールし、「日本の納豆といえばお城納豆」という第一ブランドの確立を目指す。今後は、増産目的に工場の移転も計画しており、生産能力を3倍に引き上げる考えだ。

100年企業に向けて、東社長は「今後の課題は、人材育成。時代のニーズを読み取った商品開発のためにも、先見の明を持つ人材を育成することが重要。将来的には10の関連会社をつくり、創業時の苦労が分かる人材を増やすことで、強い会社をつくれるのではないかと力を込める。今後は女性管理職の登用も視野に入れ、丸美屋グループ一丸となり、着実に成長を遂げていく。



### profile

#### 東 健 社長

ひがし・けん／菊池郡大津町出身、1951(昭和26)年7月3日生まれ、66歳。74年丸美屋入社、94年常務取締役、2000年代表取締役社長就任。趣味はゴルフ。お城納豆、お城とうふブランドを展開するほか、農産物加工食品販売や直売所の出店、大豆の自社生産化に向けた農業法人を設立するなど様々な改革を打ち出している。2017年、九州納豆組合理事長に就任

### DATA

所在地	〒865-0104 玉名郡和水町内田2211
T E L	0968-75-6000
F A X	0968-75-6954
代表者	東 健 代表取締役社長
設立	1956(昭和31)年3月
資本金	4160万円
事業内容	納豆・豆腐製造販売
従業員	291人
支店	福岡県三井郡大刀洗町
工場	南関、菊水、植木(南関、菊水工場内では直営店経営)
関連会社	武双庵・農匠なごみ・大連美屋食品有限公司(中国)
U R L	http://www.marumiya-g.co.jp

### 採用情報

- 募集職種／生産
- 応募資格／高卒以上
- 募集人員／5～6人
- 今年度実績／7人
- 連絡先／総務課 0968-75-6000
- 採用担当者／坂本